

うどんこ病・コナジラミの防除に！

殺虫殺菌剤

パルミノ®



剤の特長

- うどんこ病に対して高い予防効果を示します。
- 薬剤感受性の低下したうどんこ病に対しても有効です。
- 薬害の出にくい特殊な製剤です。



詳しい製品情報はこちら
からご確認ください



アグロ カネショウ株式会社

®は、アグロ カネショウ(株)の登録商標

登録内容

●適用病害虫と使用方法

令和7年2月27日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キノキサリン系を含む農薬の総使用回数	
かぼちゃ	うどんこ病	16倍	1.6ℓ／10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内	
きゅうり	うどんこ病 コナジラミ類	2000倍	150～ 300ℓ／10a					5回以内
なす	うどんこ病 コナジラミ類 チャノホコリダニ すすかび病				10回以内			
ピーマン	うどんこ病 コナジラミ類 チャノホコリダニ							10回以内
トマト ミニトマト	うどんこ病 コナジラミ類 トマトサビダニ	10回以内	10回以内					
すいか	うどんこ病			10回以内	10回以内			
メロン	うどんこ病	10回以内	10回以内					

△効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- ポルドー液等アルカリ性薬剤と混合すると分解が促進されるので混用はさけてください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ②散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液の漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- なすに使用する場合、定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しないください。
- コナジラミ類防除に使用する場合、発生初期の卵の多い時期が散布適期となるので、時期を失わずに散布してください。
- だいた、あずきにかかると葉に薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 空容器はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 魚毒性等…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所。

試験事例

きゅうり うどんこ病に対する防除効果	なす チャノホコリダニに対する 防除効果	ピーマン タバココナジラミ(バイオタイプQ)に 対する防除効果	すいか うどんこ病に対する防除効果
試験場所：宮崎県総合農業試験場(H24) 品 種：エクセレント節成2号 (台木：ゆうゆう一牌(黒)) 定 植：4月23日 発生状況：甚発生 処 理 日：5月10日、17日、24日 処理方法：肩掛け噴霧器で10aあたり 300ℓを散布 調査方法：5月10日、17日、24日の散 布前と6月1日(最終散布7 日後)の計4回。 1、2回目の調査は上位3 葉を除く完全展開葉、3、 4回目の調査は各区計100 葉を調査基準別に発病調査 し、発病率、発病度を算 出して防除価で表した。	試験場所：福岡県農業総合試験場(H24) 品 種：筑陽 定 植：9月5日 発生状況：中→多発生 処 理 日：9月12日 処理方法：蓄圧式噴霧器を用いて散布 調査方法：9月11日(処理前日)、9月 19日(処理7日後)に各 区全株の上位葉からコルク ボーラーを用いて直径12mm の葉片を株あたり2枚切り 抜き、実体顕微鏡下で寄生 成幼虫数を計数して防除価 で表した。	試験場所：宮崎県総合農業試験場(H24年) 品 種：京鈴 定 植：5月18日 発生状況：少発生→多発生(放虫) 処 理 日：6月7日 処理方法：電動式噴霧器により200ℓ ／10aを散布した。 調査方法：各区8株について中位葉2 葉に寄生する成虫数を調査 した。 また中位葉1葉を採取し、 葉裏の中央3.3cmの円内に 寄生する幼虫数を若～中 齢、老齢に分けて調査した。	試験場所：(地独)大阪府立環境農林水 産総合研究所(H28年) 品 種：タヒチ 定 植：9月5日 発生状況：甚発生 処 理 日：10月17日、24日、31日 処理方法：肩掛け式噴霧器により250 ℓ／10aを散布した。 調査方法：各区全体を対象に約100葉 について、発病の発生程度 (0～4)に調査し、発病率、 発病度を求め防除価を 算出した。

ハチに対する影響日数

クロマルハナバチ	1日*1
セイヨウミツバチ	5日*2

*1 ミニトマトにおける試験事例：日本植物防疫協会 高知試験場(H28)

*2 いちごにおける試験事例：日本植物防疫協会 茨城研究所(H29)

※天候や作物等の諸条件で変動します。あくまで目安としてご参考下さい。

薬害に関する注意

- なす：定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しないこと。
- 機能性展着剤(フラー、ニーズ、スカッシュ、アプローチBI等)は薬害を生じるおそれがあるため加用しないこと。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。